

作成日 2012年 2月27日
改訂日 年 月 日


安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 MH120スプイラーパテ・レジン
 会社名 武蔵ホルト株式会社
 住 所 東京都千代田区五番町14番地
 担当部門 営業管理部
 担当名
 電話番号 03-4265-8010 FAX番号 03-4265-8011
 緊急連絡先 同上
 整理番号 1000

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性: 引火性液体および蒸気

GHS分類:	引火性液体	危険有害性情報:
物理化学的危険性:	区分3	飲み込むと有害のおそれ
健康に対する有害性:		—
急性毒性(経口)	区分5	—
急性毒性(経皮)	分類できない	—
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	—
急性毒性(吸入:蒸気)	区分4	吸入すると有害
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない	—
皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A	重篤な眼への刺激
呼吸器感作性	分類できない	—
皮膚感作性	分類できない	—
生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
生殖毒性	区分1B	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1	臓器の障害
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1	長期または反復暴露による臓器の障害
吸引性呼吸器有害性	区分外	—
環境に対する有害性		
水生環境急性有害性	区分2	水生生物に毒性
水生環境慢性有害性	区分外	—
ラベル要素		
絵表示又はシンボル:		

注意喚起語: 危険

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
 化学名: 不飽和ポリエステル樹脂溶液
 成分 CAS番号 官報公示整理番号 含有量
 (化審法・安衛法) (%)
 不飽和ポリエステル等 登録有り 登録有り 70~80
 スレン 100-42-5 (3)-4 20~30
 キレン 1330-20-7 (3)-3 5>

4. 応急措置

吸入した場合： 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。かゆみ・炎症等の症状がでた場合は速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合： 清浄な水で15分以上洗眼した後、眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合： 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報： めまい、頭痛、吐き気を催した場合、速やかに作業を中止し、新鮮な空気を吸入する。

応急措置をするものの保護： 特になし

医師に対する特別注意事項： 有機溶剤中毒と同様な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末・二酸化炭素・泡・乾燥砂

使ってはならない消火剤： 水

火災時の特定危険有害性： 溶剤蒸気濃度により爆発の危険性があるので注意する。当該製品は分子中に炭素を含有しているため、燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際に煙を吸入しないよう注意する。

特定の消火方法： 水を消火に用いてはならない。適切な保護具を着用して風上から消火する。周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護： 耐熱性保護衣を着用するほか、不浸透性手袋・有機溶剤ガス用防毒マスク等の保護具を着用して風上から消火する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項： 作業の際には、必ず不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスクを着用する。

環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。大量の流出には、盛り土などで囲って流出を防止する。

除去方法： 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。

二次災害の防止策： 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。衝撃、静電気などで火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 火気厳禁

技術的対策： 取扱い設備は、防爆型を使用する。排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。換気の良いところで取り扱う。容器はその都度密栓する。周囲で、火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策のため、装置等は接地し、電機機器類は防爆型(安全増)を使用する。

注意事項： 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業する。

保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、容器を密閉し5～35℃で保管する。通風を良くし、蒸気が滞留しないようにする。使用後は密栓して貯蔵する。

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

8. 漏洩防止及び保護措置

設備対策： 蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。

	管理濃度 (2009年)	許容濃度 日本産業衛生学会(2008年)	ACGIH(2009年)
スチレン	20 ppm	50 ppm	20(皮) ppm
キシレン	50 ppm	50 ppm	100(皮) ppm

保護具

呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスク
 手の保護具： ゴム手袋
 眼の保護具： 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具： 作業衣、安全靴
 適切な衛生対策： 作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質**物理的状态：**

形状： 液体
 色： 褐色

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点： 138.4～145°C
 融点： 0°C以下
 引火点： 32°C
 発火点： データ無し
 蒸気圧： 含有する溶剤は揮発性あり
 密度： 約1.1～1.2 g/cm³(20°C)
 溶解性： 水； 難溶
 スレン； 溶解

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の取扱い条件においては安定
 反応性： 酸化剤との接触を避ける。
 避けるべき材料： 強酸化剤、酸、強アルカリ、有機過酸化物
 危険有害な分解生成物： 燃烧により一酸化炭素等の有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報

物質名	急性毒性 経口 ラット LD50	発ガン性 IARC
スレン	5000 mg/kg	2B
キシレン	4300 mg/kg	3

(注)－は分類されていないことを、*はデータなしを示す。

その他： 2. 危険有害性の要約に記載されている、危険有害性情報を参照して下さい。

12. 環境影響情報**生態毒性**

魚毒性：	LC50	
スレン	22 ppm	96 hr ブルーギル
キシレン	56 ppm	48 hr コイ

13. 廃棄上の注意

廃棄する製品は、産業廃棄物(廃油と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。焼却する場合は、焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物処理業者に委託する。焼却などにより発生した廃棄物も、廃棄物の処理・清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号： 1866(樹脂溶液)
 国連分類： クラス 3 (引火性液体 P.G 3)
 国内規制： 消防法 第四類第二石油類 (非水溶性) (危険等級 III)
 輸送の特定の安全対策及び条件

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷くずれの防止を確実に
 行う。溶剤を含有しているので火気厳禁。その他、消防法・船舶安全法等の法令に定めるところに従
 う。

緊急時応急措置指針：指針番号 128

15. 適用法令

労働安全衛生法:	危険物(引火性の物) 57条の2第1項(通知対象物) 施行令第18条(名称等を表示すべき有害物質)	有機則: 第2種有機溶剤等 スチレン キシレン		
	スチレン キシレン			
消防法	: 第四類第二石油類 (非水溶性)	(危険等級 III)		
危険物船舶運送及び貯蔵規則:	引火性液体類			
航空法	: 引火性液体			
化学物質管理促進法:	第一種指定化学物質	政令番号	含有量(%)	
	スチレン	第240号	27	
	キシレン	第80号	1.0	
悪臭防止法	: 施行令第1条(特定悪臭物質)	スチレン, キシレン		

16. その他の情報

主な引用文献 :	化学物質の危険・有害便覧	(中央労働災害防止協会)
	化学物質管理促進法対象物質全データ	(化学工業日報社)
	14303の化学商品	(化学工業日報社)
	溶剤ポケットブック	(有機合成化学協会)
	原材料の製品安全データシート	(原材料メーカー)

- ①危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意してください。
- ②この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。
- ③本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。
- ④ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。